洗濯代 昨年4月以降、順調に回復進む

9か月連続増、うち6か月で2ケタ増!!

◆1世帯当たり洗濯代支出の推移

※太字は最も金額が低かった年　※金額単位：円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2022年	**188**	**184**	401	672	669	528	420	263	232	389	353	330	4,628
2021年	207	185	417	610	**613**	**470**	**319**	255	**226**	**316**	**302**	**299**	**4,220**
2020年	292	294	**391**	**567**	726	519	320	**250**	244	414	334	309	4,661
2019年	309	318	520	820	830	686	446	368	333	453	436	418	5,936
2018年	301	312	589	975	793	542	422	285	360	464	434	427	5,904
2017年	327	278	424	930	934	623	455	329	363	485	485	410	6,043
2016年	302	318	536	946	914	705	501	402	401	577	539	474	6,615
2015年	339	333	606	958	991	617	459	421	384	533	510	449	6,601
2014年	407	309	750	906	972	780	500	459	393	566	597	525	7,164
2013年	328	310	601	880	1,020	706	496	409	436	592	622	586	6,988
2012年	383	379	567	1,061	1,008	826	570	433	419	634	561	530	7,372
2011年	383	326	449	886	1,004	818	624	427	449	651	702	561	7,281

1面の通り、昨年の1世帯当たり平均の「洗濯代」支出は前年比9・7％（408円）増の4628円で、前年より2ケタ近くも伸びたのは1991年の8・6％増以来、約30年前ぶり。

上の表は、2011年以降の支出額を月別にまとめたもの。昨年は1月9・2％減、2月0・5％減、3月3・8％減と先行きが不安になるスタートだったが、4月に10・2％増と好転。以降も5月9・1％増、6月12・3％増、7月31・7％増と、4月から7月まで〝ほぼ2ケタ増〟。8月・9月も2～3％台であるが、前年アップが続いた後、10月には23・1％増と再び2ケタ増を記録すると11月16・9％増、12月10・4％増と、ラスト3か月は2ケタ増でフィニッシュ。

結果、1～3月以外は前年の数字を上回り、そのうち6か月は2ケタ増で、年間トータルでも9・7％増という好成績を残した。

また、表では最も金額が低かった年（＝ワーストを太字にしているが、それを見ても明らかなように、この間のワーストはいずれも直近3年のコロナ禍。しかし昨年4月以降、すっかり持ち直してきた感がある。

コロナ禍で普及してきた在宅勤務などが定着する動きがある中でも、昨年の洗濯代（＝クリーニング代）は30年ぶりの高い伸びを示した。まだまだ多くの人にクリーニングが必要とされていることは間違いなく、実際に、今号1・5面で紹介している小柴クリーニンググループ（本部・広島県呉市）のように、「コロナ禍で始めた新事業の成果もあり、グループの売り上げはコロナ前を上回った」（小柴義貴社長）ところも出てきた。

本紙では、今後も元気なクリーニング店をどんどん紹介していきたく、皆さんからの情報提供もお待ちしております！

■他業界の動向は？

クリーニング需要は対前年比で約10％増となったが、他の業種の2022年はどうだったのだろうか。

▼百貨店

日本百貨店協会が発表した全国百貨店売上高は4兆9812億円となり、既存店ベースでは前年比13・1％増となった。前年を上回るのは2年連続で、コロナ禍前の2019年の9割近くの水準まで回復してきた。

▼スーパー

日本チェーンストア協会によると、全国スーパーの売上高は13兆2656億円で、既存店ベースでは昨年比1・9％増となった。前年を上回るのは3年連続。

▼コンビニ

日本フランチャイズチェーン協会によると、全国のコンビニの売上高は新規出店を含む全店ベースで11兆1775億円となり、コロナ禍前の19年を上回り過去最高となった。前年比では3・7％増。22年12月末の店舗数は5万5838店で、前年より112店少なかったが、おにぎりや弁当、冷凍食品などの売れ行きが好調だったという。

▼外食

日本フードサービス協会がまとめた外食売上高は前年比13・3％増で、3年ぶりに増加した。コロナ禍前の19年比では、5・8％減となる。コロナ禍で落ち込みが大きかったパブ・居酒屋も80・9％増と大きく改善したが、宴会のような大人数の利用は19年比の半分程度となっている。

表3　消費支出の内訳（2022年平均－二人以上の世帯）

費目（品目分類）	金額（円）	対前年増減率(%) 名目	対前年増減率(%) 実質	実質増減率への寄与度(%)	摘要[注1]	備考
消費支出	290,865	4.2	1.2	−		2年連続の実質増加
食料	81,888	3.1	−1.3	−0.37	〈減少〉魚介類、野菜・海藻など	3年連続の実質減少
住居	18,652	1.7	−0.5	−0.03	〈減少〉家賃地代	2年ぶりの実質減少
光熱・水道	24,524	13.9	−0.8	−0.06	〈減少〉ガス代、上下水道料	2年連続の実質減少
家具・家事用品	12,390	2.4	−1.3	−0.06	〈減少〉家事雑貨、寝具類など	2年連続の実質減少
被服及び履物	9,493	4.8	3.1	0.10	〈増加〉洋服、シャツ・セーター類など	9年ぶりの実質増加
保健医療	14,797	3.4	3.7	0.19	〈増加〉保健医療サービス、保健医療用品・器具など	5年連続の実質増加
交通・通信	41,535	4.4	6.0	0.86	〈増加〉通信、交通など	2年連続の実質増加
教育	11,439	−3.9	−4.8	−0.20	〈減少〉授業料等など	2年ぶりの実質減少
教養娯楽	27,619	9.4	8.2	0.74	〈増加〉教養娯楽サービス、教養娯楽用品	3年ぶりの実質増加
その他の消費支出[注2]	48,529	2.5	(−0.5)	(−0.08)	〈減少〉仕送り金	2年ぶりの実質減少

注1「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。
2「その他の消費支出」の（　）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

▲洗濯代を含む関連の品目は9年ぶりの実質増加！

リネン協の会員 昨年売上49％増

155社で6291億円

一般社団法人　日本リネンサプライ協会（山田修会長）では、正会員155社を対象に、令和4年8月1日現在の最新の年度決算総売上や部門別の売上状況、工場数、社員数などの会社現況について調べた正会員現況調査の結果を発表。正会員155社の売上総額は6291億254万円で、前年度の4219億1987万円と比べ2072億円（49・1％）もの大幅増となった。

155社の工場数は410か所（前年度379か所）、社員数は2万5151人（同2万834人）、パート数は3万1292人（同1万929人）で、1社あたりの工場数は2・6か所（同2・4か所）、社員数は162・3人（同132・7人）、パート数は201・9人（同122・9人）となっている。外国人技能実習生は全体で911人（同851人／再掲）。

なお、部門別売上でみると、一般クリーニングは347億5243億円で、13・3％増。

かなめ流通G、5月に総会

かなめ流通グループの全国クリーニング資材卸商協同組合（船木春男理事長）では、2023年度通常総会並びに賛助会員情報交換会、新商品紹介、研修会を5月11日（木）に東京・品川で開催する。

当グループの総会は、コロナ禍になって以降、Zoomを活用しながら来場は理事のみに限定するなどして行ってきたが、今年はリアル開催として、4年ぶりに組合員や賛助会員にも会場への来場を呼び掛ける（リモート開催は行わない）。

なお、研修会では外部の講師を招いての講演会を計画しており、詳細は次号にて。

I-series 各分野で人気のラインアップ
お客様の要望に幅広くお応えする自信作
ワイシャツ、ユニフォーム、タオル、私物…

洗濯機　防音・防振　高耐久性

・高い安定性と耐久性
・インバータ駆動により振動、騒音を抑制
・洗剤助剤を自動投入（オプション）

I-101W (10kg)	I-161W (16kg)	I-221W (22kg)	I-351W (35kg)

乾燥機　高速乾燥　マイコン　安全装置

・蒸気式、ガス式から選べる乾燥機
・高速乾燥と省エネを両立
・自動停止装置付で高い安全性

蒸気式	I-111ST (11kg×2)	I-221S (22kg)	I-351S (35kg)
ガス式	I-131G (13kg)	I-221G (22kg)	I-351G (35kg)

アイナックス稲本株式会社
本　社／〒141-0032 東京都品川区大崎 5-1-11/ 住友生命五反田ビル 7F TEL03-3493-5391
拠点案内はこちらをご参照ください→
http://www.inax-corp.co.jp/